

記者のメモ



父の苦勞 医療思う原点

○…県議会文教厚生委員会の調査で読谷村を訪れた喜友名智子県議（おきなわ新風、那覇市・南部離島区）。沖縄本島中部の西海岸には民間病院が十分ではないことが課題で「読谷村出身の父から無医村時代の大変さを聞いていた。地域では開発が進み医療ニーズは高い」と指摘。9月定例会では「緊急医療と回復期対応が可能な民間病院が必要、という立場で議論したい」と意気込む。視察では10月に開館予定の村立図書館も見学。「長男と行きたい！」と「本の虫」らしくテンションが上がったとか。